

TOSHIBA

2022年度 決算説明資料

東芝テック株式会社

2023年5月11日

目次

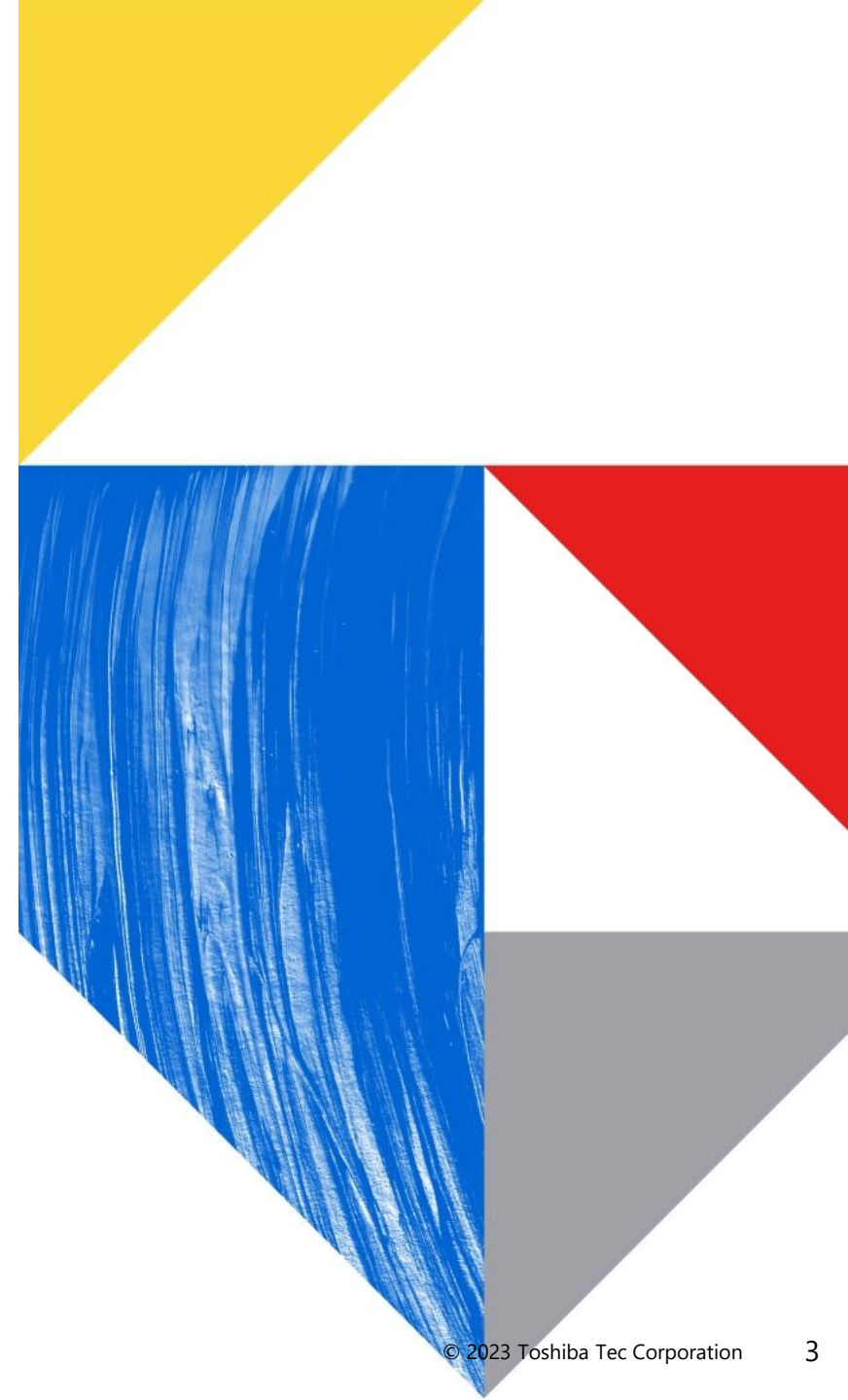
01 Key Messages

02 2022年度 決算

03 2023年度 業績見通し

01

Key Messages



Key Messages

2022年度は売上高、営業利益は対前年で大きく改善

売上高 15%伸長、営業利益 39%増加、2020年度からのコロナ禍以降、2期連続で増収増益

2022年度下期はワークプレイス事業中心に業績が改善

ワークプレイス事業 下期ROS4.9%

投下資本利益率（ROIC）が改善

資本効率を意識した経営を推進、ROIC改善：2021年度5.7%、2022年度8.2%

フリーキャッシュフローは上期から大幅改善

下期は税金等調整前純利益、運転資金の改善などによりフリーキャッシュフローが+168億円

2022年度の配当金は期末20円・年間40円、2023年度は年間45円に増配

2023年度の年間配当は5円増配の45円を計画

2022年度 重点テーマとその成果

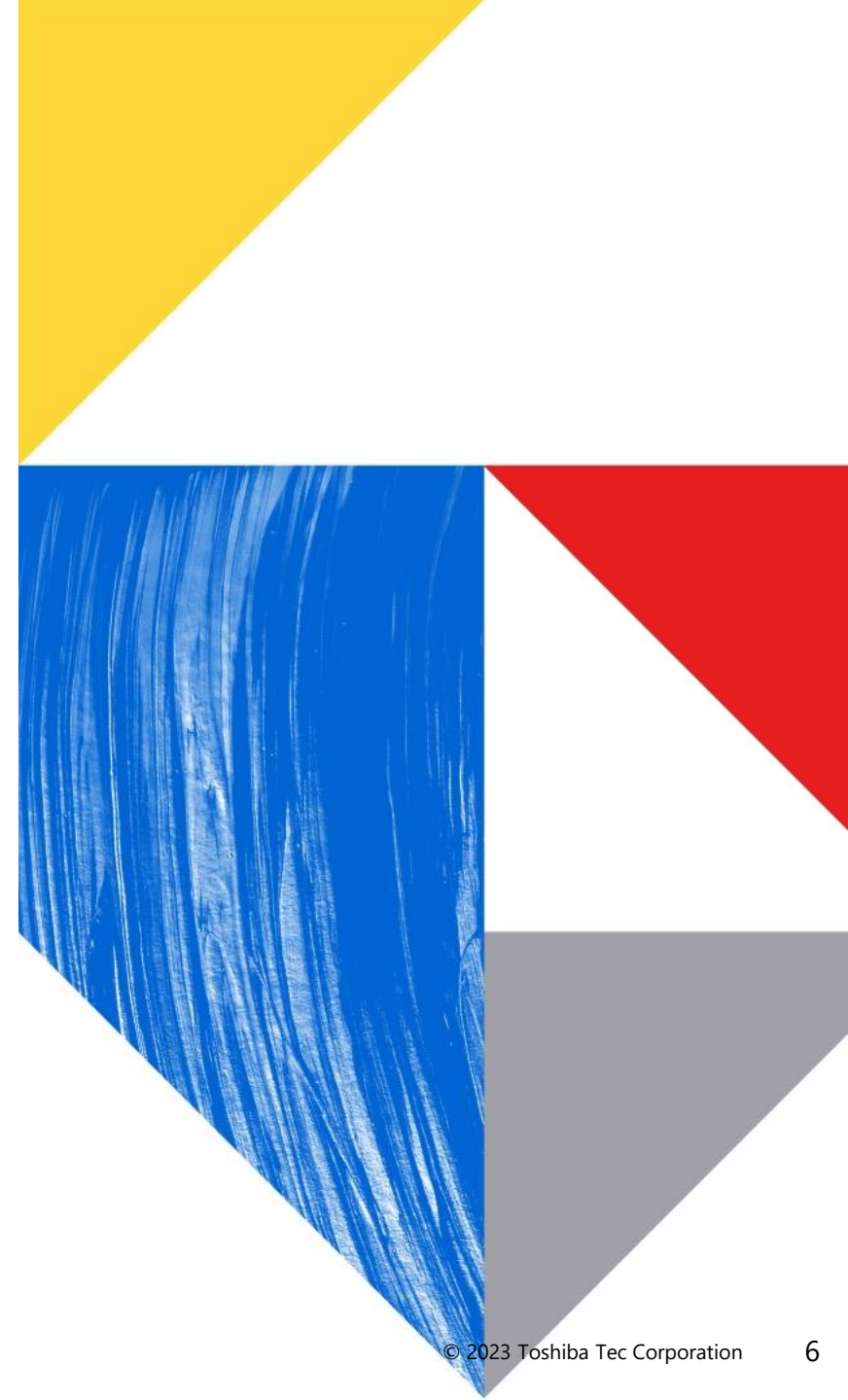
社会課題の解決に貢献する新たな価値を共創によって生み出し
グローバルトップのソリューションパートナーへ

重点テーマ	成果
共創エコシステム ・データ利活用	「スマートレシート®」会員数125万人を突破(*)
グローバル総合力 の最大活用	Innovation & Incubation Hubを米ダラスに設立
ワークプレイスの 収益基盤強化	ワークプレイスソリューション事業は 構造改革・構造転換の効果で下期ROS 5%

(*) 2023/3/31時点

02

2022年度 決算



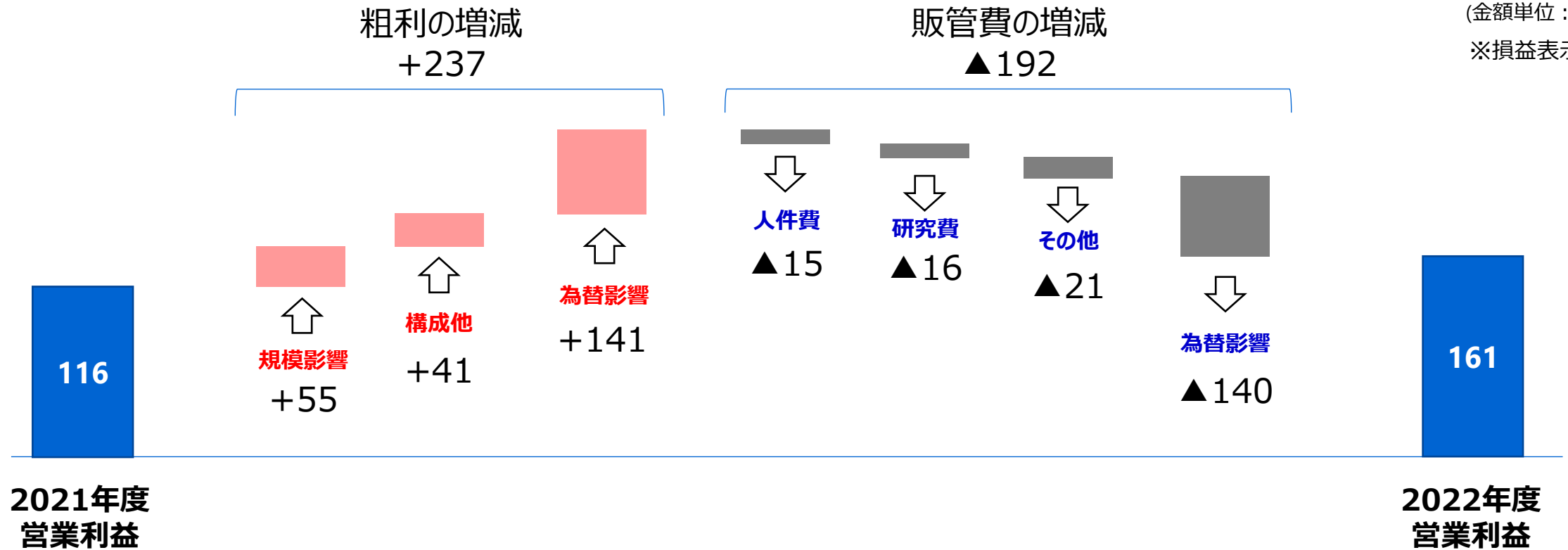
2022年度 業績

(単位：億円)

	2022年度 実績	2022年度 予想(2/6)	2021年度 実績	差異	
				対2/6予想	対前年度
売上高	5,108	5,100	4,453	+8	+655
営業利益 (対売上高比率)	161 (3.1%)	140 (2.7%)	116 (2.6%)	+21	+45
経常利益 (対売上高比率)	131 (2.6%)	115 (2.3%)	102 (2.3%)	+16	+30
親会社株主に帰属する 当期純利益／純損失 (対売上高比率)	△137 (-%)	△25 (-%)	54 (1.2%)	△112	△191
配当	40円	40円	40円	-	-
為替レート (円)					
US\$	135.11	134.54	112.05	+0.57	+23.06
EUR	140.86	139.55	130.54	+1.31	+10.32

営業利益の増減分析

(金額単位：億円)
※損益表示



2022年度 上期/下期業績

(単位：億円)

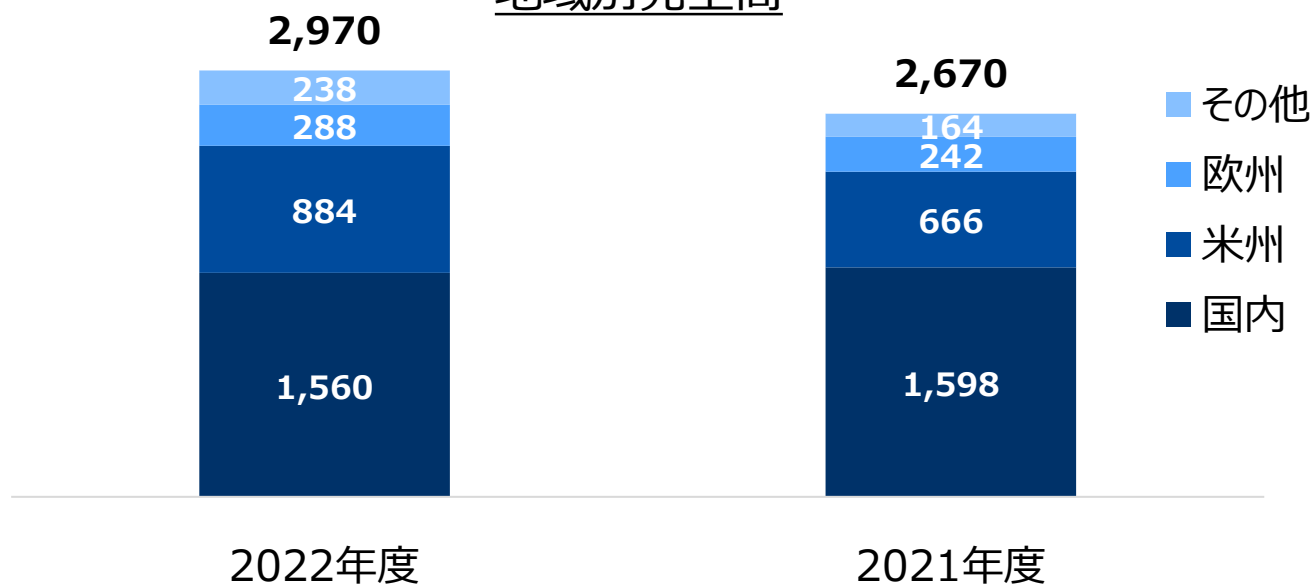
	2022年度 上期実績	2022年度 下期実績	差異 対上期
売上高	2,439	2,669	+230
営業利益	60	101	+41
(対売上高比率)	(2.4%)	(3.8%)	
経常利益	28	104	+76
(対売上高比率)	(1.1%)	(3.9%)	
親会社株主に帰属する 当期純損失	△64	△74	△10
(対売上高比率)	(-%)	(-%)	
配当	20円	20円	-
為替レート (円)			
US\$	131.59	138.65	+7.06
EUR	138.21	143.53	+5.32

セグメント情報 2022年度業績

(単位：億円)

		2022年度	2022年度	2021年度	差異	
		実績	予想(2/6)	実績	対2/6予想	対前年度
リテール ソリューション	売上高	2,970	2,870	2,670	+100	+300
	営業利益	92	80	106	+12	△14
	(対売上高比率)	(3.1%)	(2.8%)	(4.0%)		

地域別売上高



セグメント情報 2022年度 上期/下期業績

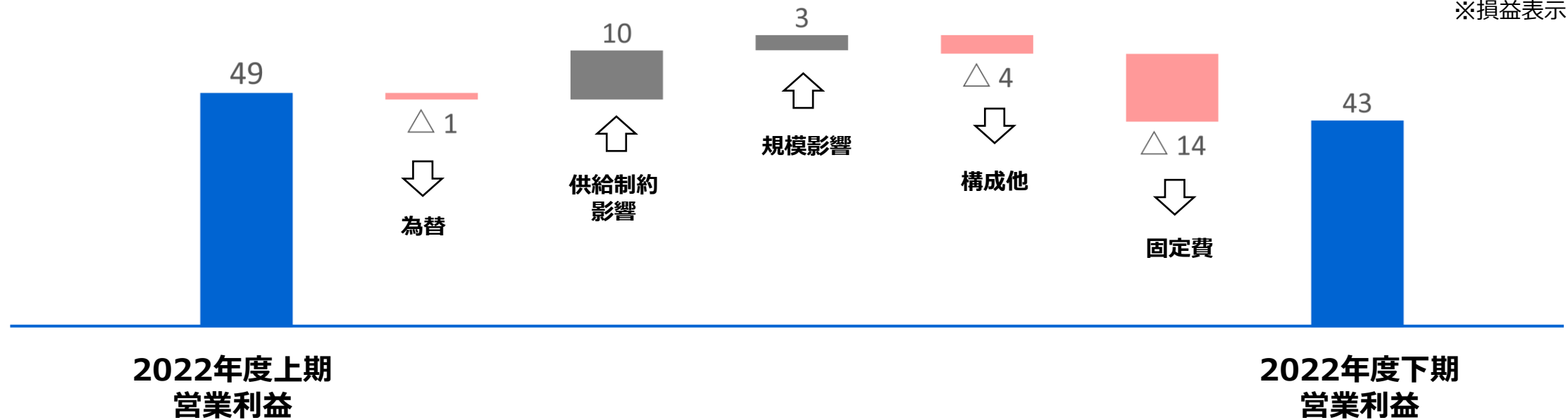
(単位：億円)

	2022年度 上期実績	2022年度 下期実績	差異 対上期
リテール ソリューション	売上高	1,455	+60
	営業利益	49	△6
	(対売上高比率)	(3.3%)	(2.9%)

【2022年度上期・下期 営業利益の増減分析】

(単位：億円)

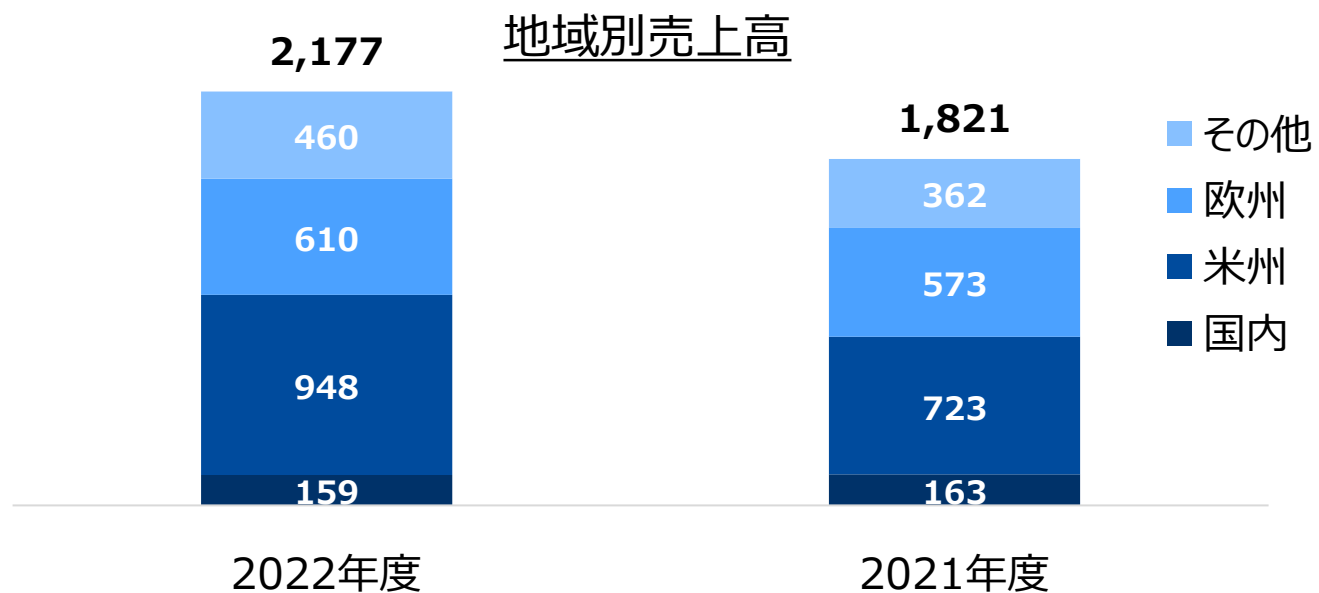
※損益表示



セグメント情報 2022年度業績

(単位：億円)

		2022年度	2022年度	2021年度	差異	
		実績	予想(2/6)	実績	対2/6予想	対前年度
ワークプレイス ソリューション	売上高	2,177	2,280	1,821	△103	+355
	営業利益 (対売上高比率)	69 (3.2%)	60 (2.6%)	10 (0.5%)	+9	+59

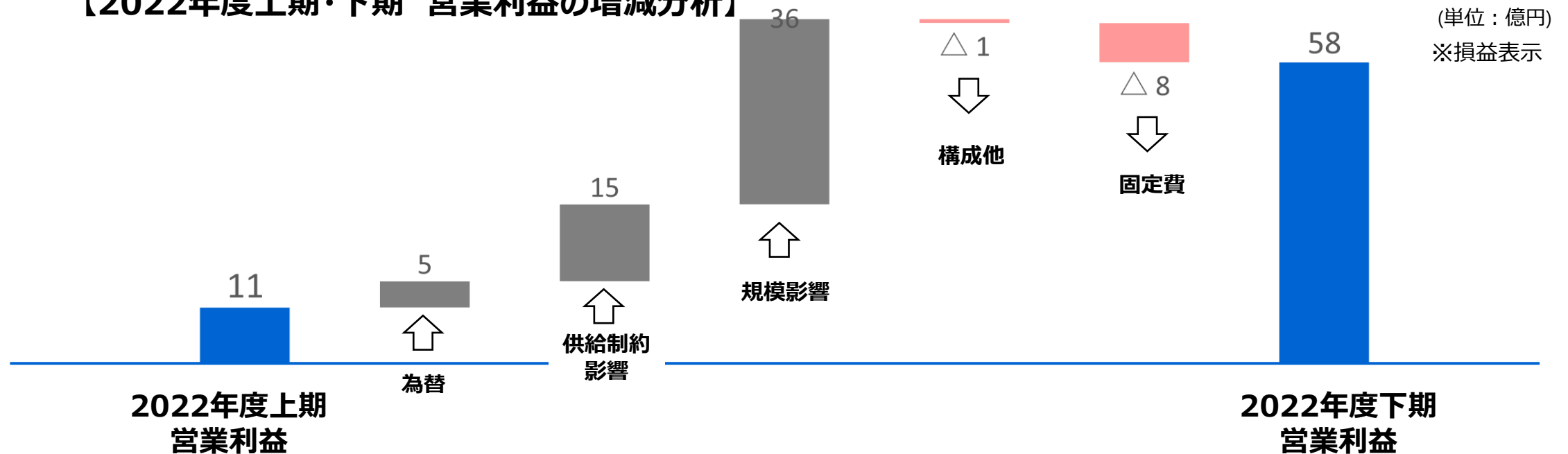


セグメント情報 2022年度 上期/下期業績

(単位：億円)

		2022年度 上期実績	2022年度 下期実績	差異 対上期
ワークプレイス ソリューション	売上高	1,002	1,175	+173
	営業利益	11	58	+47
	(対売上高比率)	(1.1%)	(4.9%)	

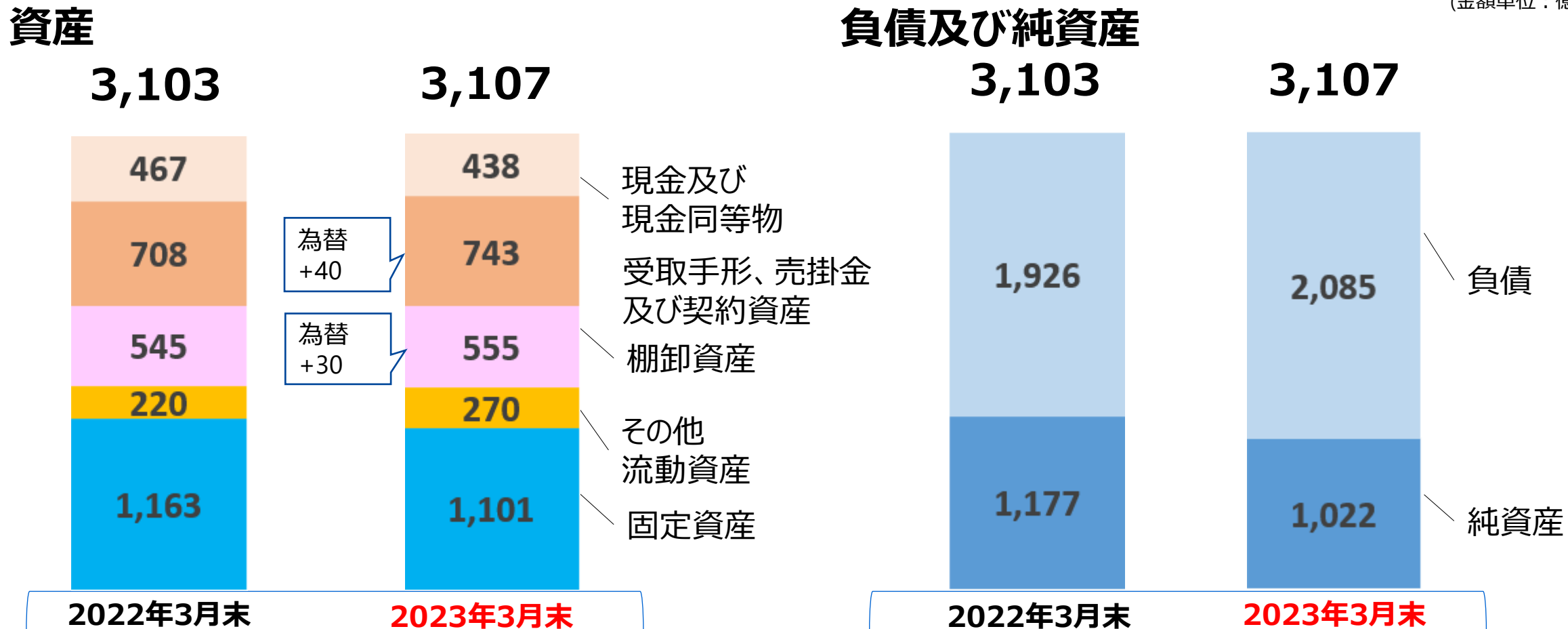
【2022年度上期・下期 営業利益の増減分析】



貸借対照表

繰延税金資産の取り崩しなどにより株主資本・自己資本比率が減少

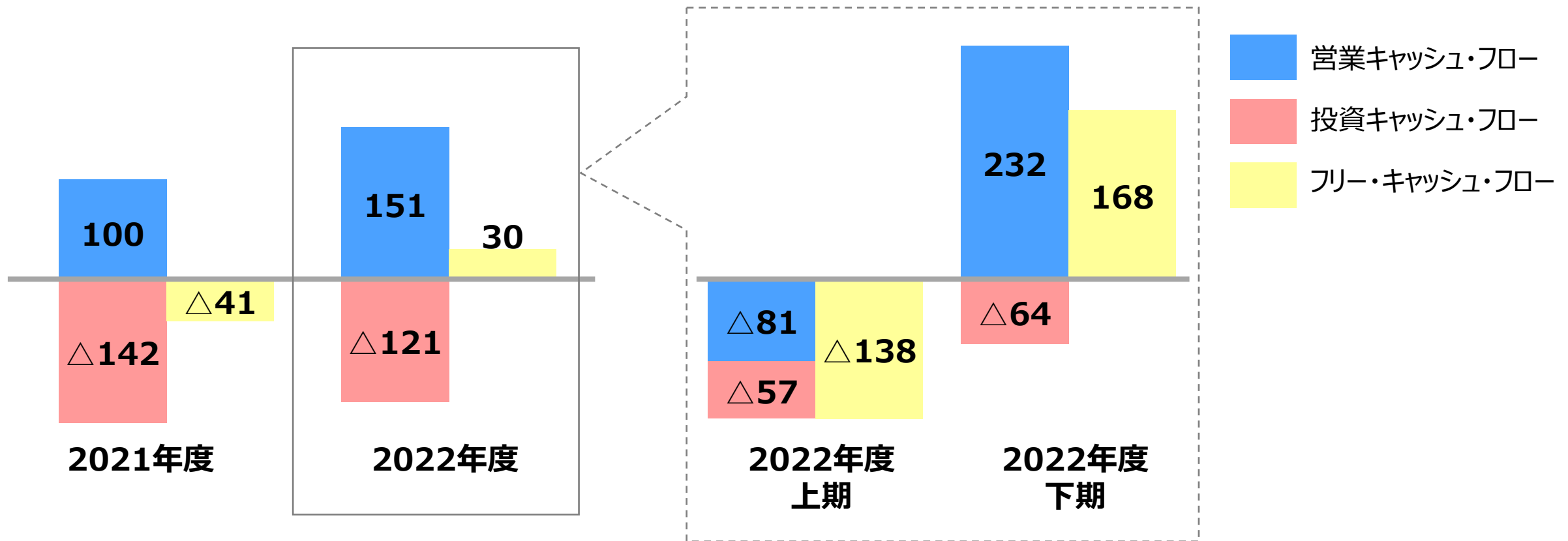
(金額単位：億円)



2022年度 キャッシュ・フロー

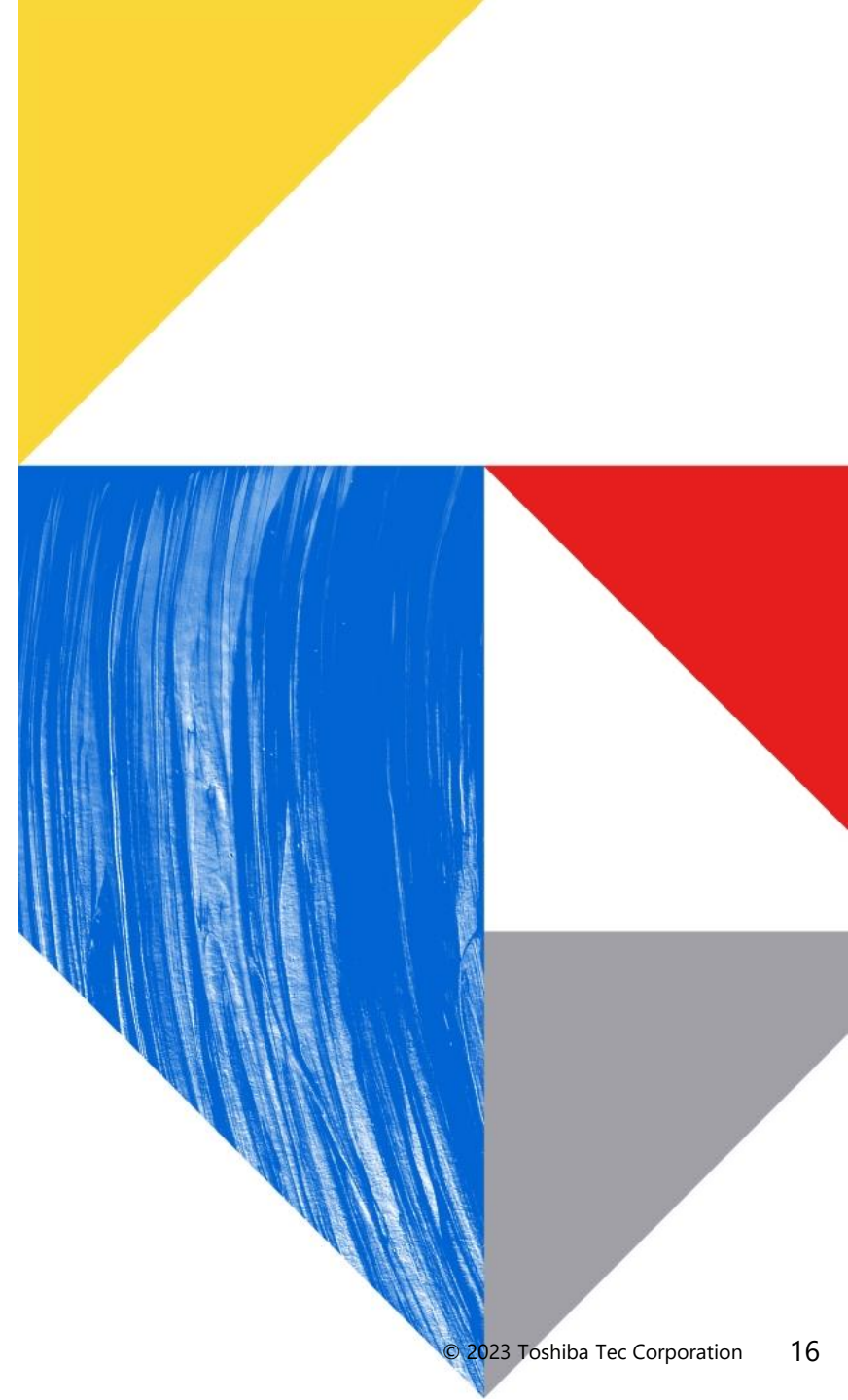
下期は税金等調整前純利益、運転資金の改善などによりフリーキャッシュフローが大幅増加

(単位：億円)



03

2023年度 業績見通し



2023年度 業績見通し

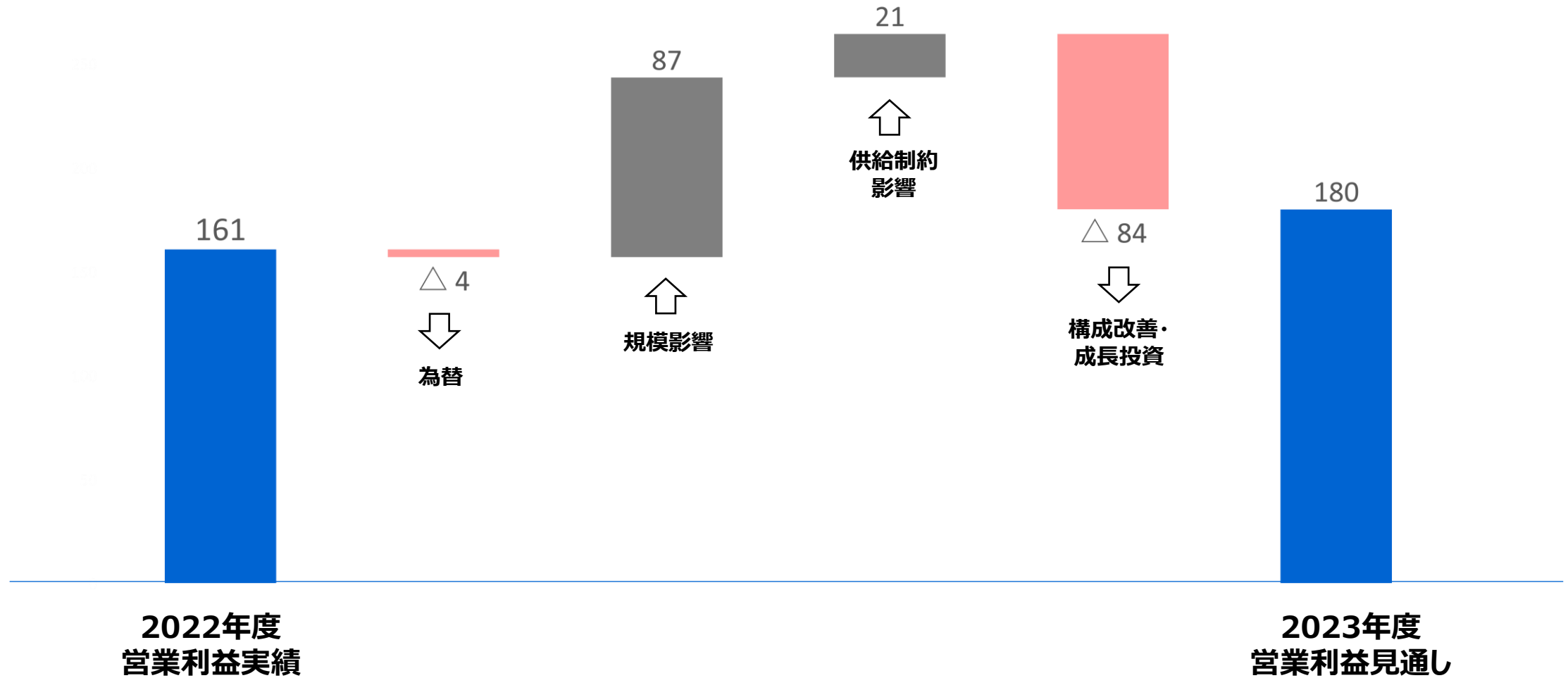
(単位：億円)

	2023年度 見通し	2022年度 実績	差異 対前年度
売上高	5,200	5,108	+92
営業利益 (対売上高比率)	180 (3.5%)	161 (3.1%)	+19
経常利益 (対売上高比率)	150 (2.9%)	131 (2.6%)	+19
親会社株主に帰属する 当期純利益／純損失 (対売上高比率)	70 (1.3%)	△137 (-%)	+207
配当	45円	40円	+5円
為替レート (円)			
US\$	130.00	135.11	△5.11
EUR	140.00	140.86	△0.86

2023年度 営業利益の増減分析（対前年）

(単位：億円)

※損益表示



セグメント情報 2023年度業績見通し

(単位：億円)

		2023年度 見通し	2022年度 実績	差異 対前年度
リテール ソリューション	売上高	3,070	2,970	+100
	営業利益	110	92	+18
	(対売上高比率)	(3.6%)	(3.1%)	
ワークプレイス ソリューション	売上高	2,180	2,177	+3
	営業利益	70	69	+1
	(対売上高比率)	(3.2%)	(3.2%)	

Appendix

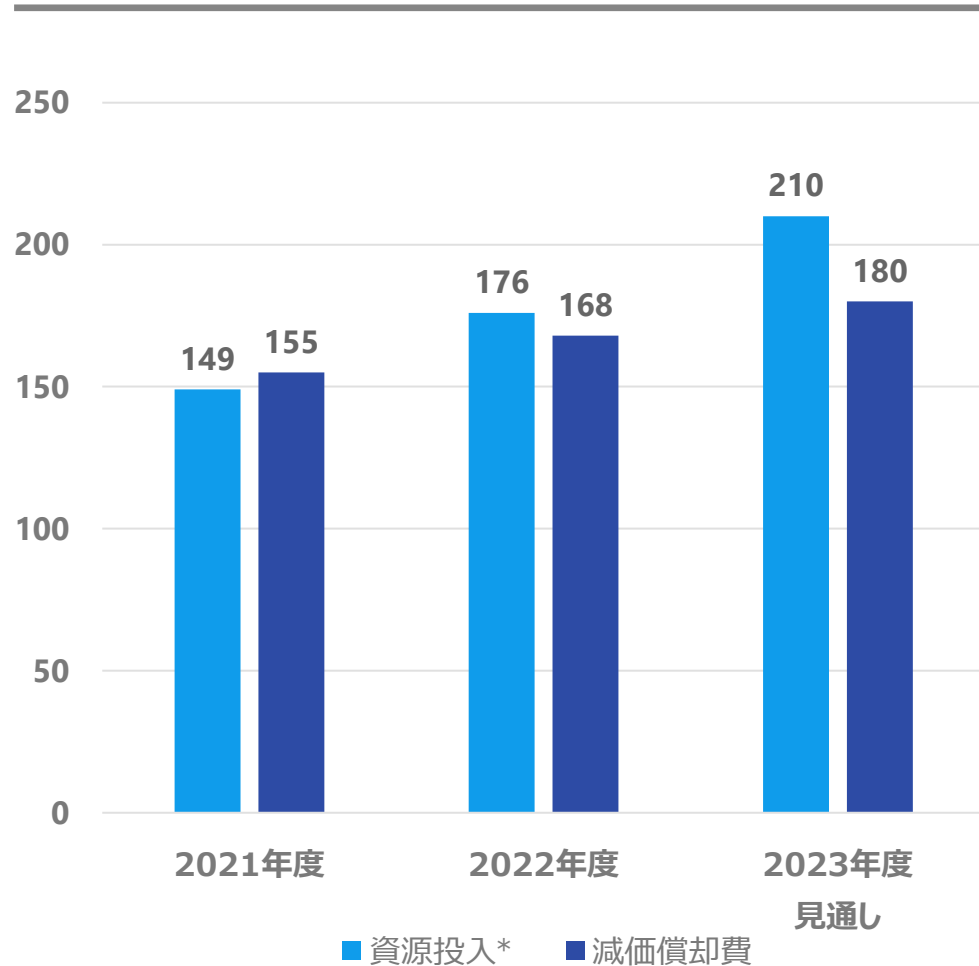
2023年度見通し 為替の影響

	前提為替レート	1円円安の場合の影響額	
	2023年度	売上高 (年間)	営業損益 (年間)
US\$	130円	+ 18億円	△ 1億円
EUR	140円	+ 3億円	+ 1億円

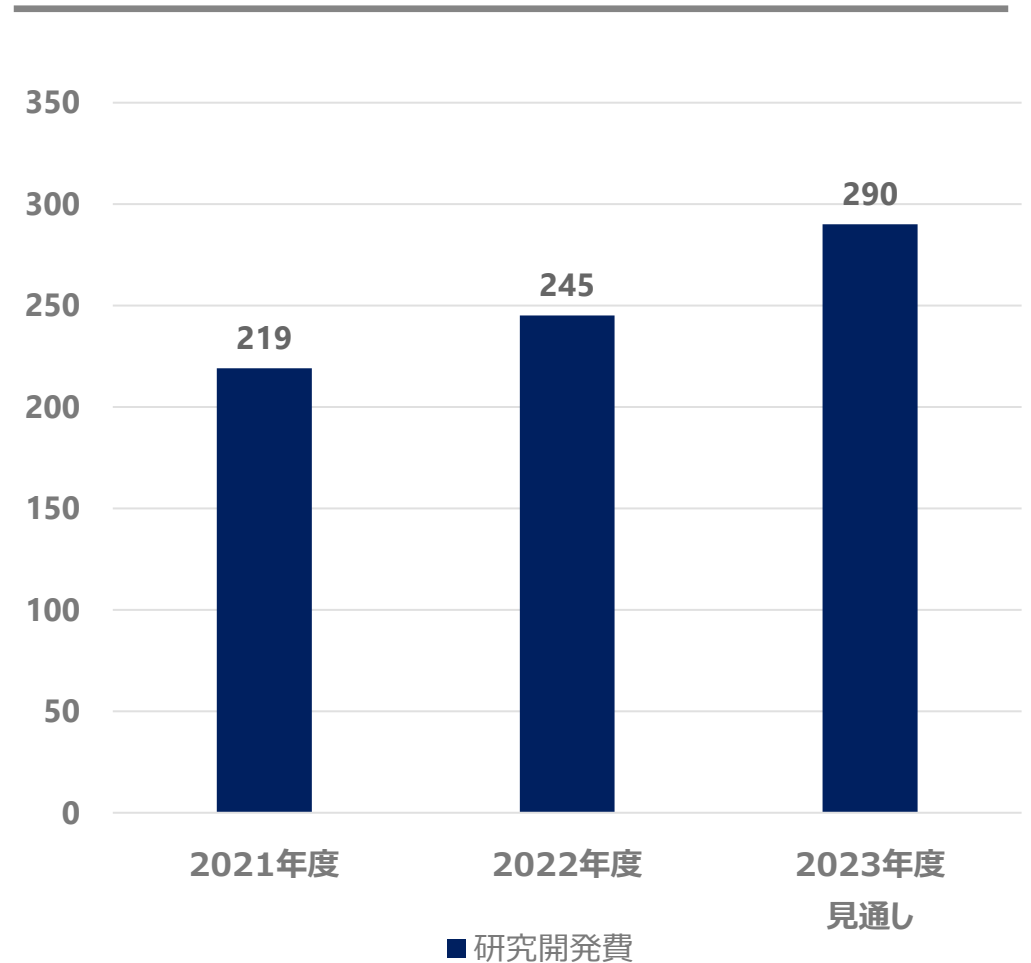
2023年度見通し 資源投入*・減価償却費 研究開発費

(単位：億円)

資源投入*・減価償却費



研究開発費



*有形固定資産及び無形固定資産の増加額

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

TOSHIBA

